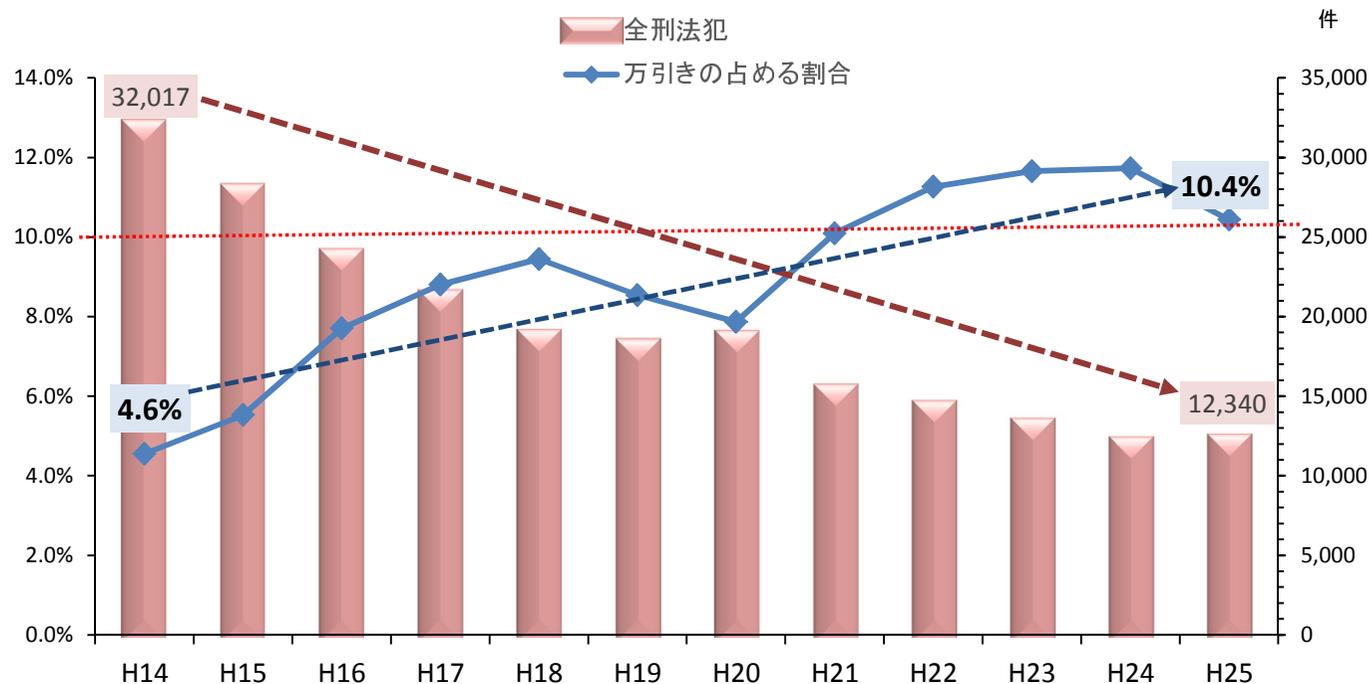


**③ 高齢者が被疑者となる犯罪について  
～万引き～**

# 万引きの推移（平成14年～平成25年）

全刑法犯認知件数は、平成14年以降減少傾向にあるが、全体に占める万引きの割合は増加傾向  
 → **平成25年中、全体の約1割を占める。**



県	認知件数	全刑法犯	万引き	万引きが占める割合
全国		1,320,716	126,502	9.6%
奈良		12,340	1,288	10.4%
和歌山		9,110	940	10.3%
兵庫		70,534	6,570	9.3%
滋賀		15,447	1,420	9.2%
京都		31,945	2,692	8.4%
大阪		157,955	8,521	5.4%

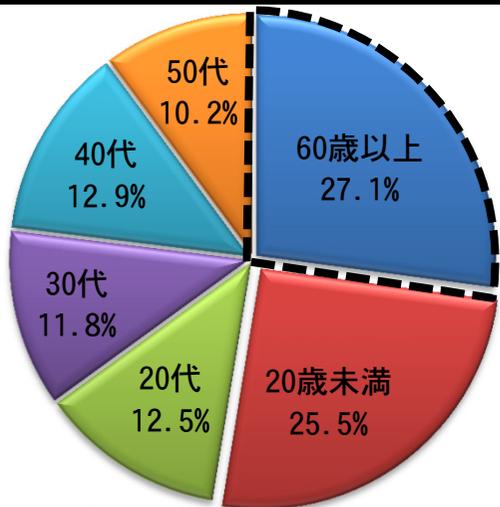
本県の全刑法犯に占める万引きの割合は、全国平均より0.8Pプラス、近畿2府4県の中でも、最も高い数値となっています。



※平成25年中

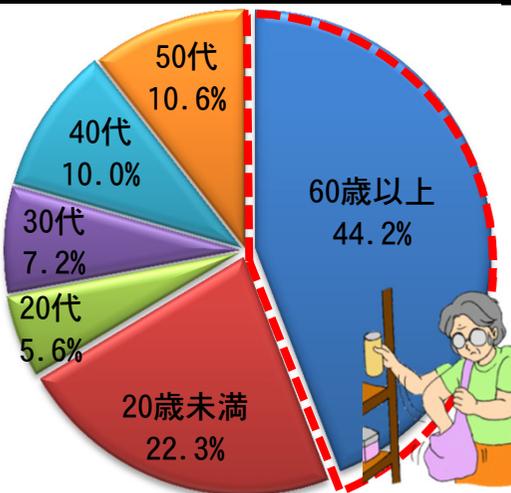
# 万引きの被疑者について（年齢別） ※平成25年中

全刑法犯では、60歳以上が全体の27.1%を占める。



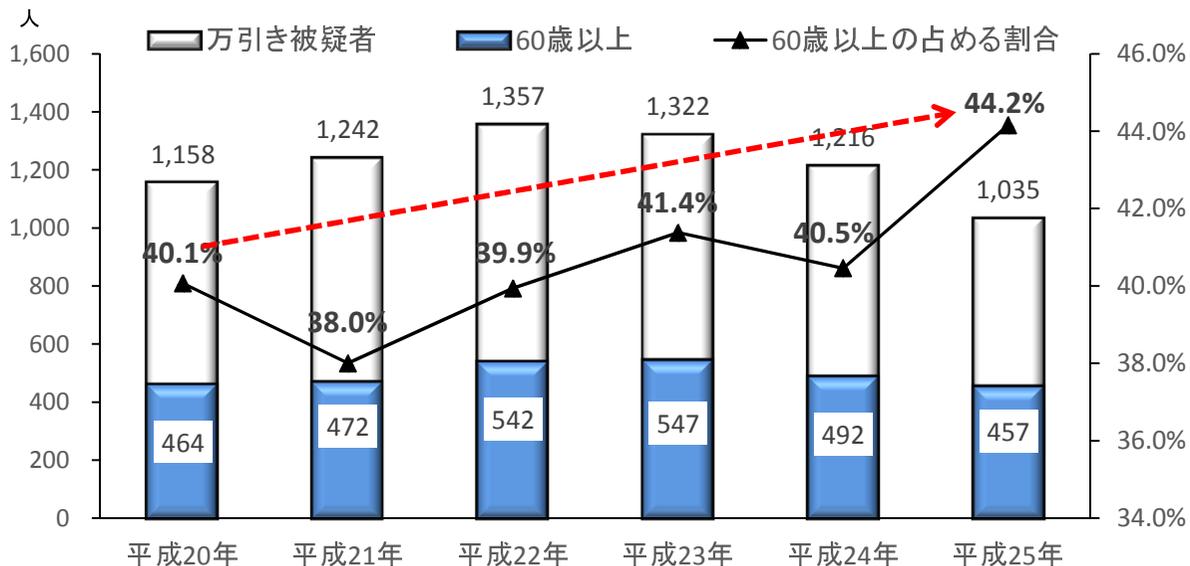
全刑法犯検挙人員

「万引き」に限ると、60歳以上が全体の44.2%を占める。



万引き検挙人員

## 万引き被疑者に占める60歳以上の割合



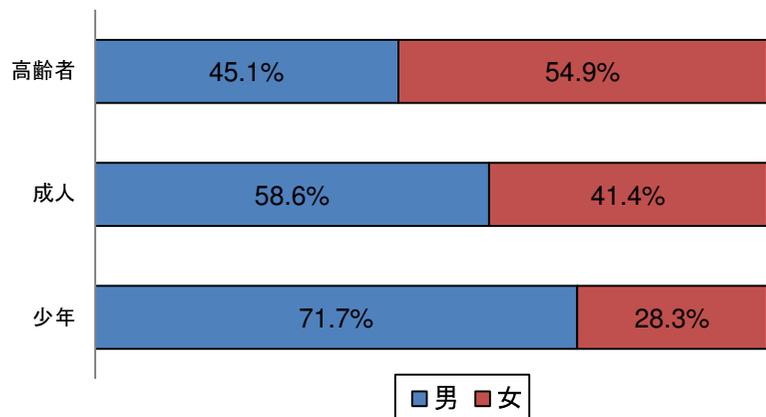
万引き被疑者に占める60歳以上の割合は、年々増加傾向にあります。



# 万引きに関する調査研究報告書 (警視庁 平成21年8月)

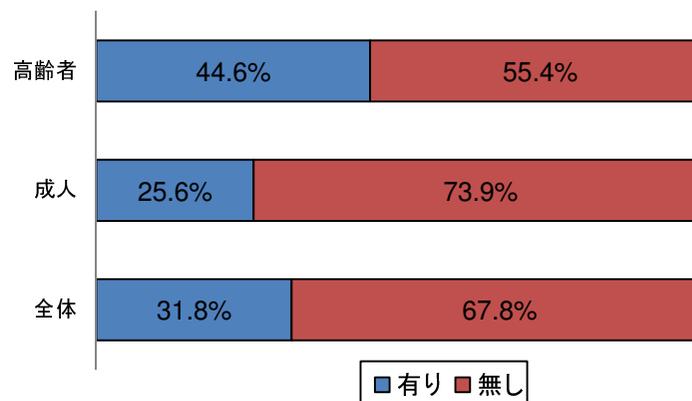
刑法犯認知件数が減少しているのに対し、万引きの認知件数は高止まりの状況。また、高齢者の万引きが増加していることは非常に注意を要し、今後の更なる高齢化の進行を踏まえれば、対策は急務。高齢者の犯罪を未然に防止するためには、高齢者の孤立感の解消などが鍵。

## 男女別



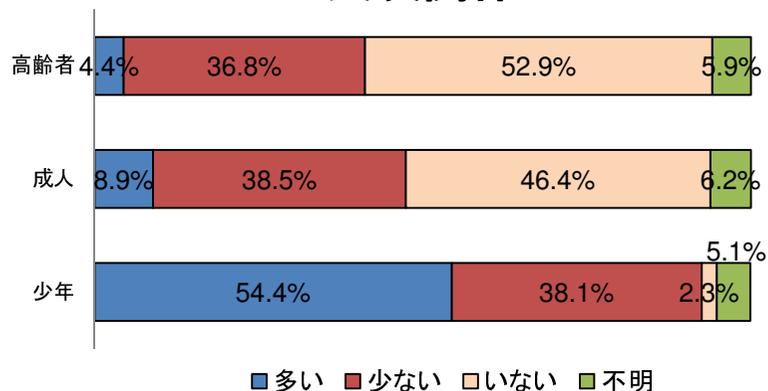
高齢者になるほど、女性の占める割合が高い。

## 配偶者



平成17年に行われた国勢調査では、都内の有配偶者率は成人で53.2%、高齢者では59.2%であるが、万引き被疑者の有配偶者率は、それと比較して低い。

## 交友関係



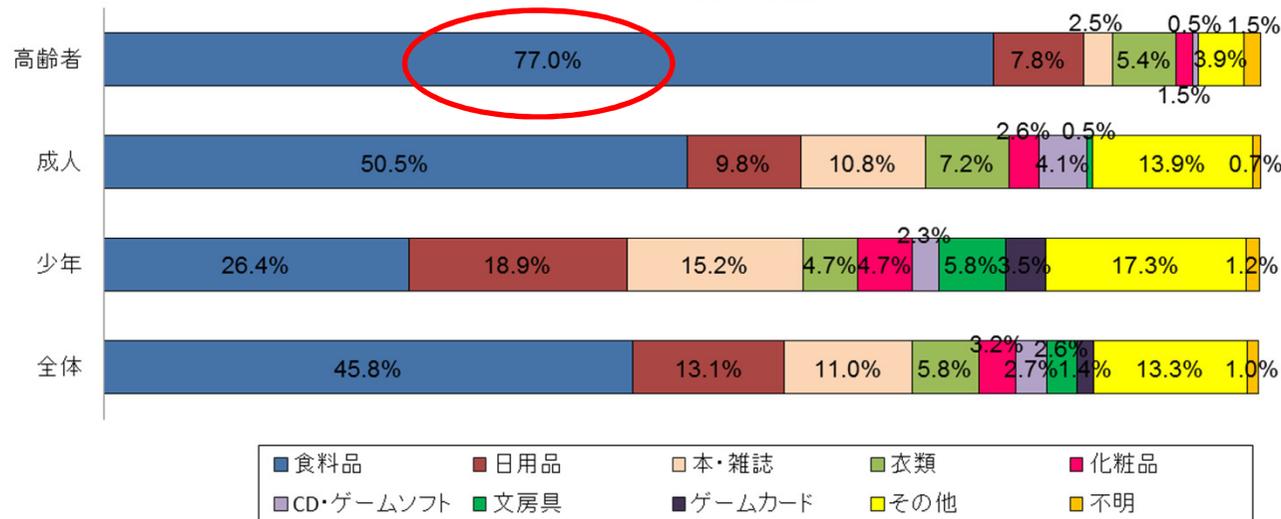
友人の数は、年代が上がるほど「いない」の割合が高くなる。特に高齢者では、「いない」と「少ない」で89.7%である。



※ 少年:20歳未満 成人:20歳以上65歳未満 高齢者:65歳以上

# 万引きに関する調査研究報告書 (警視庁 平成21年8月)

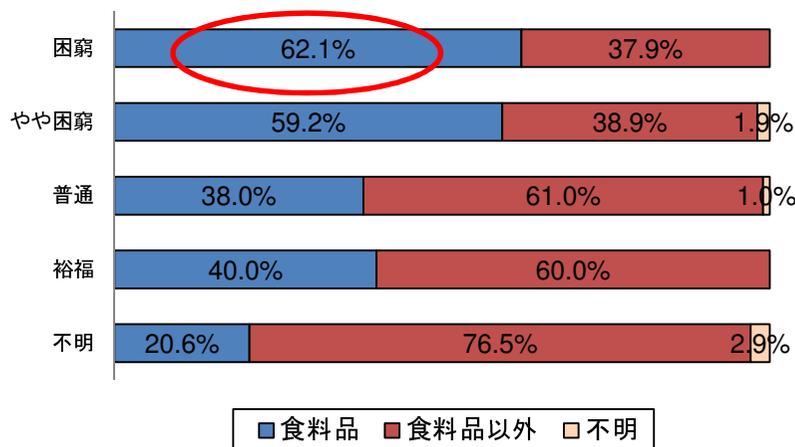
## 目的物



各年代とも「食料品」が最も多いが、年代が上がるにつれて被害品の中で「食料品」を占める割合が高くなる。



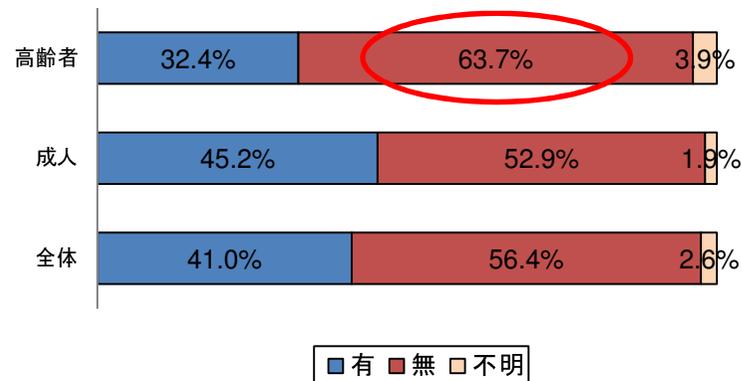
## 困窮度合いと目的物



生活状態が困窮していると感じている被疑者ほど、「食料品」を目的物とする傾向がある。



## 収入

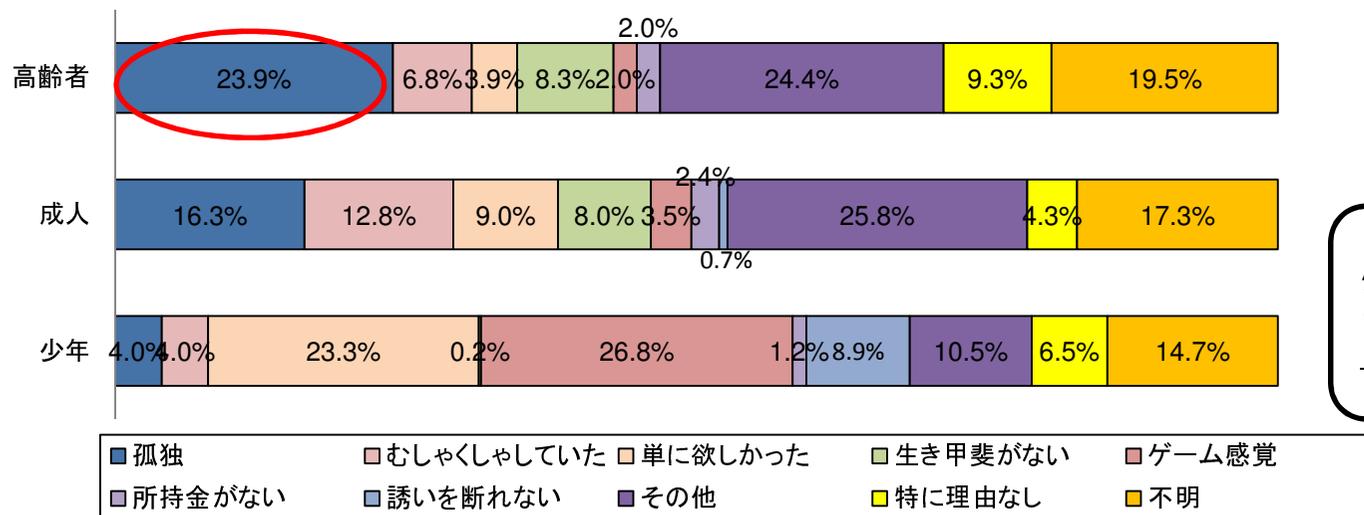


高齢者の63.7%が無収入である。



# 万引きに関する調査研究報告書 (警視庁 平成21年8月)

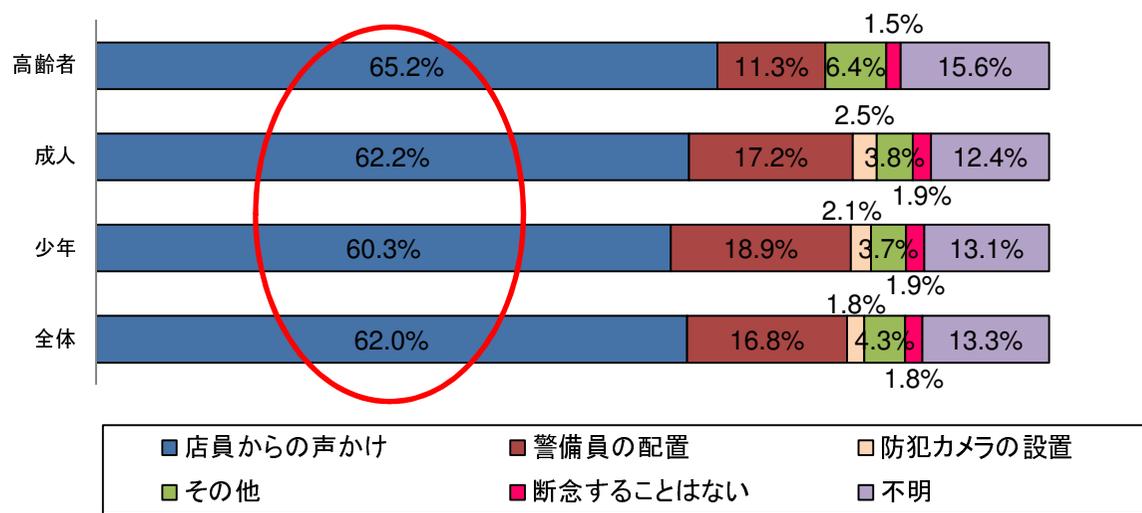
## 心理的な背景(複数回答)



少年では「ゲーム感覚」が最も多く、成人・高齢者では「孤独」が「その他」を除いて最も高い。



## こうされたら万引きを断念した



すべての年代で「店員からの声かけ」が最も高くなっている。

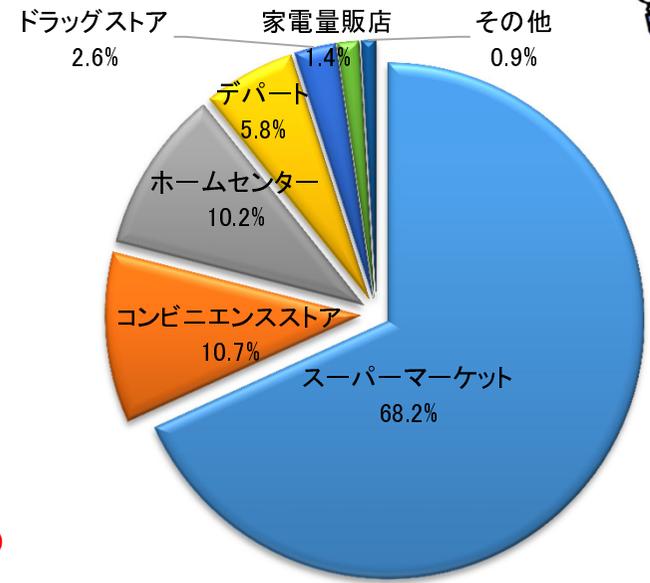


# 万引きの発生状況について（市町村・場所別）

（平成25年中）

平成25年中	人口	刑法犯認知件数		万引き	
		件数	人口千人当たり	件数	人口千人当たり
奈良市	363,316	3443	9.48	388	1.07
大和高田市	66,221	804	12.14	64	0.97
大和郡山市	87,647	852	9.72	117	1.33
天理市	67,813	829	12.22	71	1.05
橿原市	125,492	1551	12.36	225	1.79
桜井市	58,967	414	7.02	26	0.44
五條市	32,598	254	7.79	26	0.80
御所市	28,320	220	7.77	15	0.53
生駒市	119,697	756	6.32	95	0.79
香芝市	77,346	641	8.29	56	0.72
葛城市	36,340	367	10.1	18	0.50
宇陀市	32,197	146	4.53	10	0.31
市部計	1,095,954	10,277	9.38	1,111	1.01
山添村	3,811	47	12.33	0	0.00
平群町	18,933	94	4.96	10	0.53
三郷町	23,425	157	6.7	4	0.17
斑鳩町	27,498	181	6.58	13	0.47
安堵町	7,690	43	5.59	0	0.00
川西町	8,600	47	5.47	2	0.23
三宅町	7,136	52	7.29	1	0.14
田原本町	31,974	274	8.57	21	0.66
曾爾村	1,716	11	6.41	0	0.00
御杖村	1,884	10	5.31	0	0.00
高取町	7,354	40	5.44	1	0.14
明日香村	5,575	28	5.02	1	0.18
上牧町	23,043	196	8.51	27	1.17
王寺町	22,561	224	9.93	42	1.86
広陵町	33,591	231	6.88	28	0.83
河合町	18,119	135	7.45	17	0.94
吉野町	7,918	23	2.9	0	0.00
大淀町	18,464	112	6.07	10	0.54
下市町	6,378	22	3.45	0	0.00
黒滝村	754	2	2.65	0	0.00
天川村	1,420	7	4.93	0	0.00
野迫川村	467	7	14.99	0	0.00
十津川村	3,709	17	4.58	0	0.00
下北山村	905	5	5.52	0	0.00
上北山村	614	3	4.89	0	0.00
川上村	1,428	7	4.9	0	0.00
東吉野村	1,910	14	7.33	0	0.00
郡部計	286,877	1,989	6.93	177	0.62
発生地不明等		74		0	
合計	1,382,831	12,340	8.92	1,288	0.93

万引きの発生場所では、「スーパーマーケット」が約7割を占めています。



犯罪率で見ると、大型店舗を抱える

- 王寺町 (1.86)
- 橿原市 (1.79)
- 大和郡山市 (1.33)

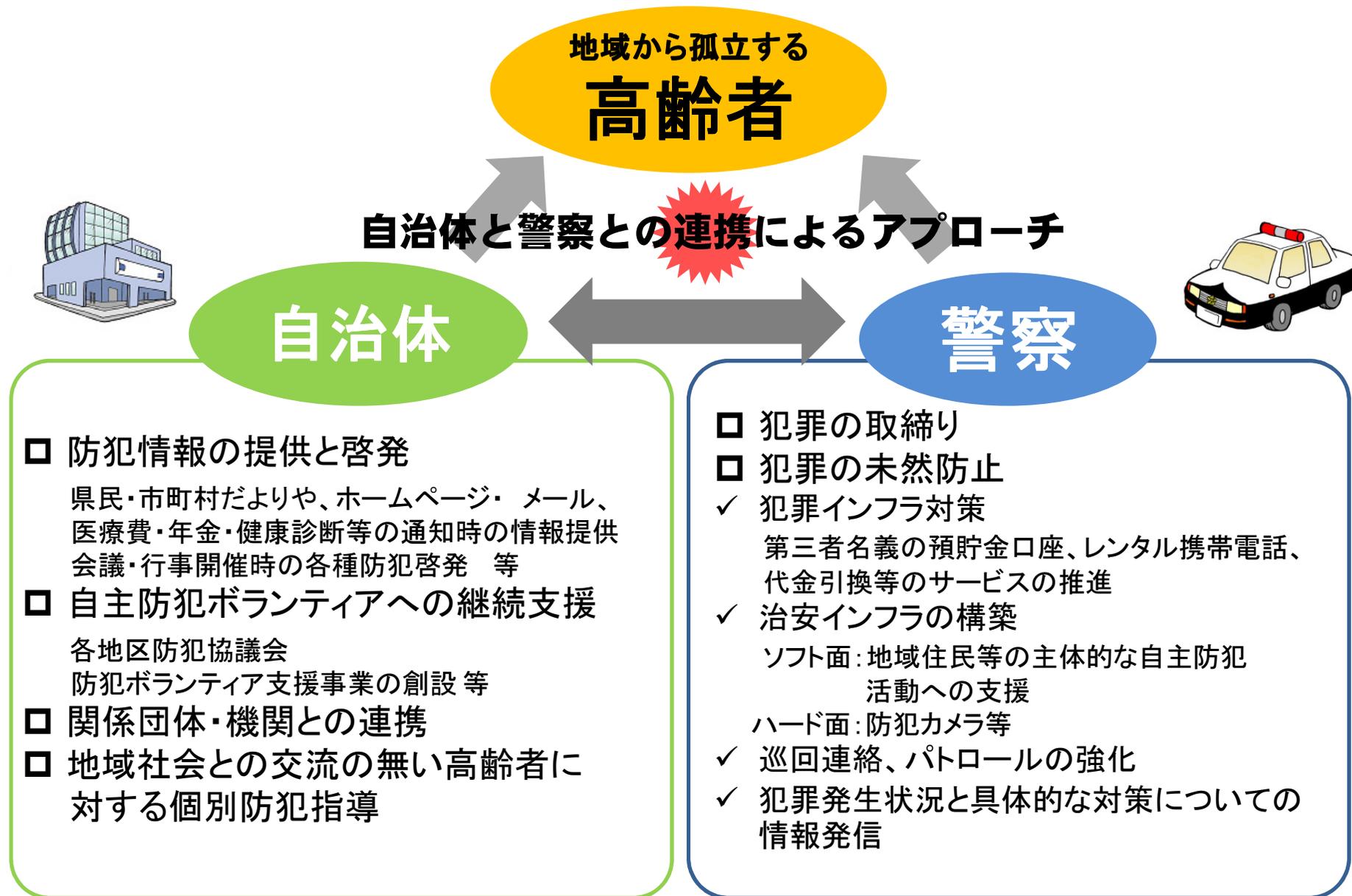
で多発しています。



## **④ 提言**

**～地域から孤立化する高齢者を守るために～**

# 高齢者が安全に安心して暮らせる社会に向けて



高齢者が安心して暮らせる街づくりを推進するため、行政・警察のより一層の連携と、それぞれの機関の取組強化が求められる。

# 特殊詐欺の未然防止に向けた取組

## あらゆる広報媒体や機会を活用 ～犯罪に対する「抵抗力」向上～

積極的な発生広報及び、  
FMラジオ局を通じた注意喚起



注意点を判りやすく情報提供するため、  
「4コマ漫画」を作成

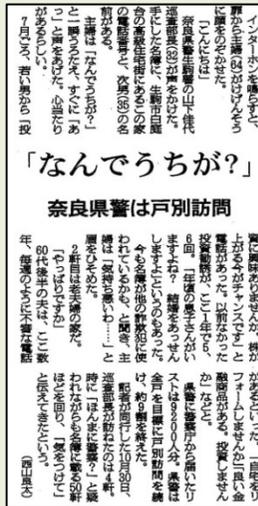


メロディーパトロールによる広報



## 主な被害者層である高齢者に 的を絞った対策の推進

平成24年8月以降、  
全国警察が詐欺グル  
ープから押収した  
名簿登載者宅に対  
する巡回連絡



医師会と連携し、医療施設で定期的  
な広報紙「やまとの安全」の配布。

## 事業者の社会貢献活動

バス会社による特殊詐欺啓発DVD作成

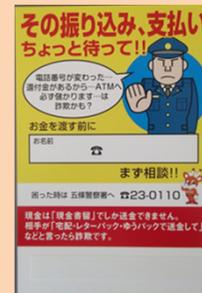


酒造会社 ボトルネックカードの作成  
振り込め詐欺防止川柳募集



## 自治体の取組（五條市）

電話機に取り付ける「騙  
されないカード」を作成し、  
民生児童委員が協力して  
高齢者世帯に配布。



年金支給日に合わせたATM警戒!  
五條市 太田市長が啓発活動

特殊詐欺被害なくせ  
五條で市長ら啓発  
活動  
ATMの利用時に被害防止を呼び掛ける太田市長ら一昨日、五條市清原3丁目の五條郵便局  
特殊詐欺被害をなくせ、ATMの利用時に被害防止を呼び掛ける太田市長ら一昨日、五條市清原3丁目の五條郵便局  
特殊詐欺被害をなくせ、ATMの利用時に被害防止を呼び掛ける太田市長ら一昨日、五條市清原3丁目の五條郵便局

# 万引き防止に向けた取組

## ゲートウェイ 犯罪対策協議会の設立

平成23年、万引き等のゲートウェイ犯罪の未然防止を目的に設立。  
毎年、総会を開催し、講演や事例発表を通じて、防犯機器による防犯対策や、顧客への声かけ要領など、万引きの起きにくい店づくりのための共通理解を図る。



## 情報発信活動

高野の方か万引きをするケースが増え、全体的に防犯となっており、周りに悩みや不安を抱えている方は声をかけ、悩みを話し合える環境を犯罪を防ぐ鍵になります。

地域のみならず声をかけ合って被害を減らそう、被害者も加害者を出さない街にしましょう!

万引きの現状

スーパー	50%
コンビニエンスストア	15%
ドラッグストア	8%
百貨店	6%
その他	21%

万引きの46%が60歳以上

60歳以上	46%
50歳以上	21%
40歳以上	15%
30歳以上	8%
20歳以上	6%

スーパーでの発生が大半

## 管理者対策の推進

万引きを未然防止するための声かけを呼びかけるとともに、声かけ要領の周知を図る。

スーパー、量販店、小売業等を営む皆さまへ

万引き等の犯罪を未然に防止するためには、来店されるお客さまに対するあいさつ・声かけを励行し、「注目されている」「見られている」という意識を植え付けることが大切です。

明るい店舗づくりのために、積極的な声かけをお願いします。

○ 具体的な声かけ内容

- 一般的な声かけ (あいさつ) いらっやいませ。おはようございます。
- 店内を徘徊している場合 何かお探しでしょうか。何かございましたら、遠慮なくおっしゃってください。
- 多数の衣類を試着室に持ち込もうとしている場合 恐れ入ります。試着室への商品の持ち込みは、〇点までとさせていただきますので、ご協力をお願いします。
- トイレに未精算の商品を持ち込もうとしている場合 ご精算前の商品をトイレに持ち込まないよう、ご協力をお願いします。
- 店内専用買物カゴを使用していない場合 お手数ですが、当店では専用カゴをご利用下さい。

**万引き しない! させない! 見逃さない!**

奈良県警察 ○〇署

## 店舗向けのリーフレット作成

大型商業施設、商店街が、独自に防犯シートを作成。来店客に、万引の未然防止のための、あいさつ・声かけ運動の推進を明示。

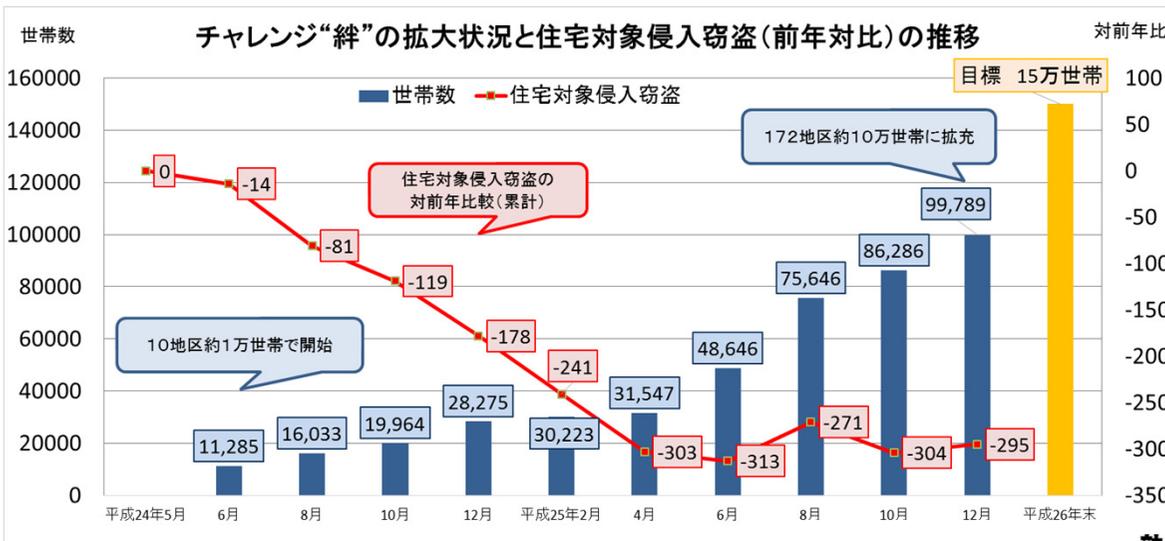
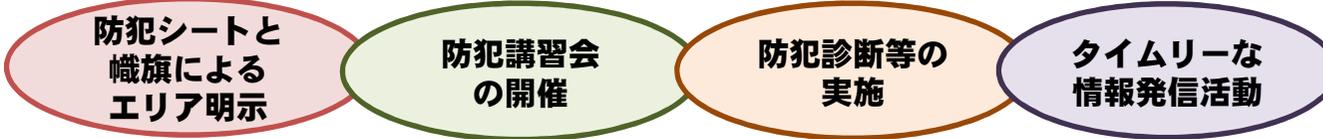


## 防犯シート作成

# あいさつ・声かけ運動「チャレンジ“絆”」～参加型犯罪予防



地域防犯力を高めるため、防犯シートを門扉に、幟旗を地区内に掲げて、住民が相互にあいさつを行い、連帯意識や絆を深めるとともに、見知らぬ人には声かけを行って、犯罪者が入り込みにくい地域を構築。



- 平成24年6月1日から、県下10地区約1万世帯で開始
- 各警察署等で自治会長等へ参加を呼びかけ 県下各地へ波及・拡大
- 172地区 99,789世帯に拡充 (平成25年末現在)
- 目標:平成26年末までに15万世帯に拡充

住宅対象侵入窃盗の「増減数」で全国第6位、「増減率」で全国第2位と非常に高順位に位置(平成25年上半期)。



効果～住宅対象侵入窃盗の減少

順位	都道府県	H24.6	H23.6	増減数
1	千葉	2076	2812	-736
2	神奈川県	1457	2054	-597
3	福島	446	727	-281
4	茨城	1141	1408	-267
5	群馬	600	854	-254
6	埼玉	1850	2101	-251
7	愛知	3310	3555	-245
8	大阪	1791	2030	-239
9	福岡	1790	1985	-195
10	栃木	474	661	-187

順位	都道府県	H24.6	H23.6	増減率
1	山形	69	132	-47.3%
2	奈良	172	307	-43.9%
3	山口	173	280	-38.2%
4	鳥取	92	129	-36.4%
5	大分	140	208	-32.6%
6	群馬	600	854	-29.7%
7	神奈川県	1457	2054	-29.7%
8	宮崎	192	269	-28.6%
9	栃木	474	661	-28.2%
10	千葉	2076	2812	-26.1%

# あいさつ・声かけ運動「チャレンジ“絆”」～参加型犯罪予防

## 市町村別の取組状況 (平成25年末現在)

市町村名	地区数	世帯数
奈良市	25	25,710
大和高田市	1	98
大和郡山市	6	1,660
天理市	1	6,300
橿原市	4	7,315
桜井市	5	3,606
五條市	10	2,360
御所市	1(市全域)	11,155
生駒市	36	12,506
香芝市	10	9,767
葛城市	1	800
宇陀市	10	2,065
山添村	1	37
三郷町	6	1,452
斑鳩町	18	2,756
川西町	2	640
三宅町	1	72
田原本町	5	1219
上牧町	2	3,366
王寺町	12	1,892
広陵町	6	1,365
河合町	3	1,008
吉野町	2	100
大淀町	4	2,540
合計	172	99,789



### 実施地区における住民の声

- 防犯シートが各戸に掲示されているので、シートを見る度に、**あいさつや声かけをしようという意識が高まる。**
- 防犯シートを門扉に掲示することで、**泥棒が警戒して空き巣に入りづらくなるので、安心して過ごせるようになった。**
- 回覧板やメールで、警察から**犯罪発生状況をすぐに提供してもらえるようになり、防犯対策が立てやすくなり感謝している。**
- 警察署からの防犯講習や犯罪発生情報について情報提供を受け、住民の防犯意識が高まり、**自主防犯活動が活発となった。**
- 住民間の**連帯意識がより深まった。**

## 日本一の絆つよい街に



今谷署長から東川市長に喜苑のほりが手渡された=9日、御所市の同市役所

この運動は、住民が日常的に町で出会う人に積極的にあいさつをし、不審者の侵入や犯罪を抑止しようという取り組み。これまでに県内112自治会で実施されているが、市単位で全自治会が参加するのは初めて。市内120自治会が参加する。関係者が見守る中、今谷和也高田署長から東川裕御所市長らに喜苑のほりが発アプレートやのほりが手渡された。東川市長は「コミュニティを構築する」とは防犯以外にも役立つ。55周年でつべん

の町を自指しているの、手を取り合ってまい進みたいと話した。同運動は平成24年6月から県内で始まり、参加自治会が広がり、とも、住宅侵入盗も

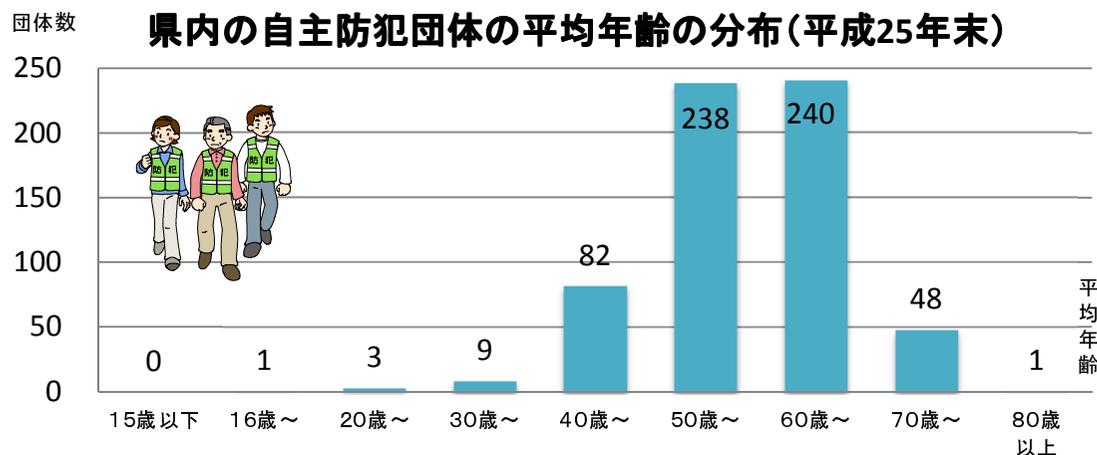
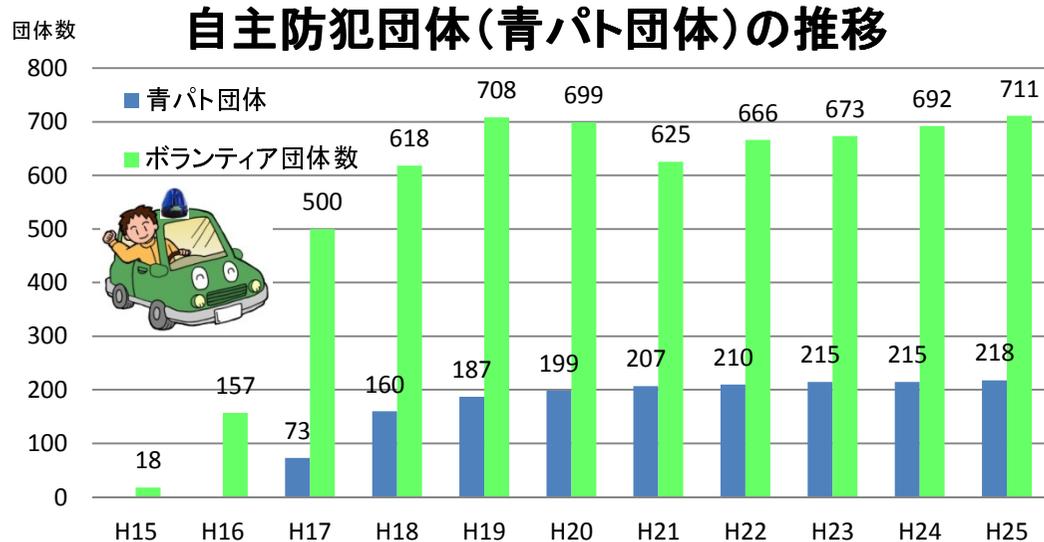
減少している。高田署の山荘公志生 活安全課長は「市の全自治会が参加する防犯の取り組みは全国でも例がないのでは」と話している。

### 御所市

あいさつ・声かけ運動で犯罪防止

## 全自治会参加、県内で初

高田署と御所市は県警が実施中の「チャレンジ絆」あいさつ・声かけ運動を同市の全自治会で取り組みとして、決め9日、同市役所で「日本一の絆つよい街・御所市」開始式を行った。



平成16年11月に発生した、小学生女子児童誘拐殺人事件を契機に、子どもの見守り活動を始めた自主防犯活動の気運が高まり各地で自主防犯団体が結成されました。

平成19年には、団体数が708団体まで増加しましたが、以降、団体数は伸び悩んでいます。

自主防犯団体の平均年齢(職域団体を除く)では、平均年齢60～69歳の団体数が最多の240団体で、次いで50～59歳の団体数が238団体でした。

中年期の方が防犯活動で活躍していることがわかります。

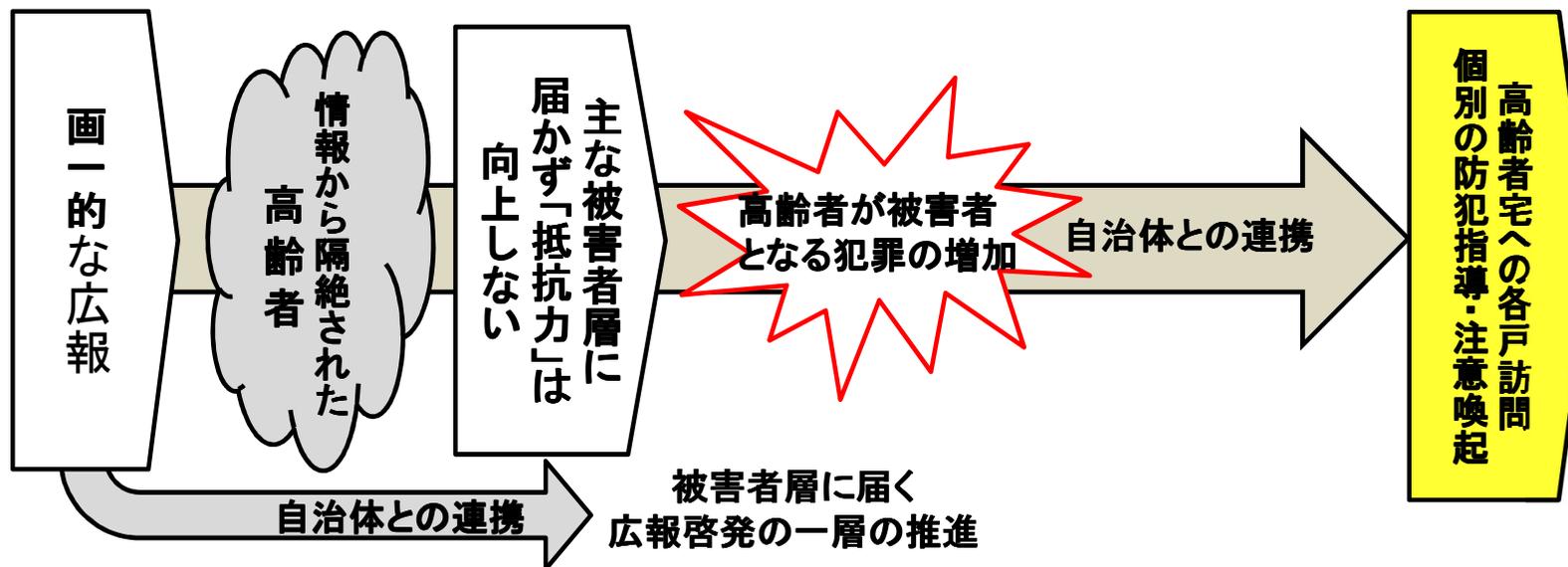
### 市町村別の自主防犯団体結成状況(平成25年末)

市町村名	自主防犯団体		青色防犯パトロール団体		
	団体数	人員	団体数	交付者数	車両台数
奈良市	162	5,838	60	1,345	470
大和高田市	18	984	6	237	23
大和郡山市	30	900	7	127	53
天理市	34	1,338	8	83	38
橿原市	33	1,338	12	424	58
桜井市	32	3,389	8	77	29
五條市	14	286	6	46	33
御所市	10	894	3	118	16
生駒市	57	5,846	11	118	37
香芝市	17	992	4	134	9
葛城市	7	759	2	134	5
宇陀市	13	603	8	132	26
山添村	6	91	3	70	9
平群町	12	275	6	32	27
三郷町	5	192	3	175	9
斑鳩町	20	700	9	103	20
安堵町	1	100	5	53	15
川西町	5	106	2	36	4
三宅町	18	399	5	36	11
田原本町	38	830	6	56	32
曽爾村	4	25	4	32	15
御杖村	4	46	3	20	15
高取町	5	101	1	66	11
明日香村	4	115	1	56	28
上牧町	10	365	4	91	38
王寺町	13	1,474	3	128	8
広陵町	4	84	3	47	20
河合町	10	256	3	36	12
吉野町	10	177	4	125	15
大淀町	13	839	6	162	65
下市町	6	1,058	3	84	30
黒滝村	1	104	1	5	2
天川村	2	62	2	23	10
野迫川村	0	0	1	2	2
十津川村	1	34	1	2	3
下北山村	1	18	1	5	3
上北山村	0	0	1	3	1
川上村	1	20	1	12	6
東吉野村	1	14	1	40	9
合計	622	30,652	218	4,475	1,217

※ 職域自主防犯団体(89団体)を除く

## ➤ 提言 1

# 「face to face」による防犯指導・注意喚起の推進



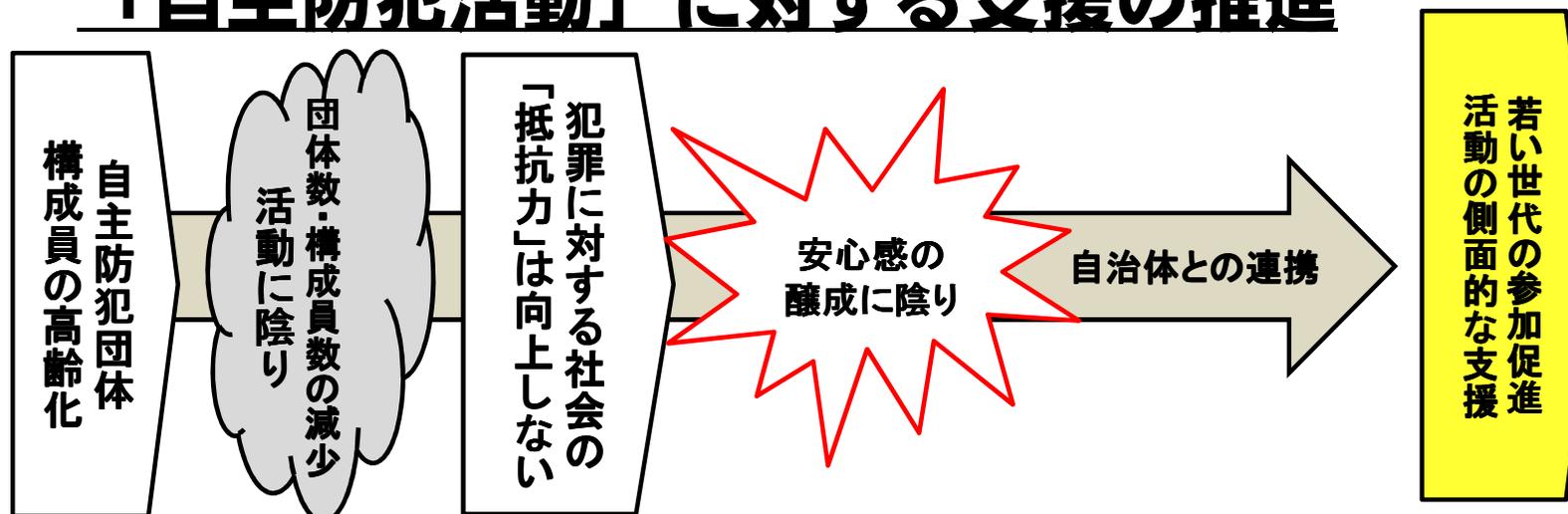
民生児童委員との協働による高齢者宅訪問



学生ボランティアによる高齢者宅訪問

## ➤ 提言 2

# 「自主防犯活動」に対する支援の推進



青色防犯パトロール